

上川町白寿大学
白寿だより
 令和元年12月 第4号



8月の授業

8/21



講演「北海道の
 酒造りについて」
 緑丘蔵杜氏
 川端 慎治氏



まず最初に杜氏の仕事について説明を頂き、講演会は始まりました。ラグビーに明け暮れた高校・大学時代、大学生活で出会った日本酒に魅せられ、大学卒業後は杜氏を目指し、石川・福岡・岩手・山形・群馬、そして北海道と酒蔵で修業したこと。そして、それぞれの地でのエピソード。北海道の日本酒の歴史(隆盛時は北海道で180蔵あった)では、当時北海道の日本酒は、本州では全く相手にされなかったが、近年、道内で全国トップクラスの米ができてはじめて、酒造りも注目されており、北海道は大きな可能性のある地であること。帯広畜産大学のキャンパス内に緑丘蔵第2工場の施設を計画し、今具体的な取り組みに入ったこと。等々お話していただきました。

最後に緑丘蔵のマークについての学生から質問があり、五つの味「五味」と大雪山の「大」をデザインしたものであることを伺い、皆さん納得していました。上川のお酒がより一層身近なものになりました。

9月の授業

小樽方面への宿泊研修 9/4~5



留萌方面への日帰り研修 9/25



10月の授業

鷹栖ななかまど大学との交流授業 (鷹栖住民センター)



当日は、息詰まるゲームが展開され、結果は引き分け。今年も優勝カップは、上川白寿大学が頂きました。(〇)

10月の授業は、恒例となった鷹栖ななかまど大学との交流です。今年は、鷹栖町での開催で木の香りも爽やかな新しい施設「鷹栖地区住民センター『ふらっと』」での開催となりました。開会式に続いて「宅急便リレー」「フロアカーリング」「ホールインワン」「紅白玉入れ」の競技種目と交流ゲームの「ジャンケンリレー」が行われました。閉会式では、ななかまど大学おもてなしの快さに感謝の言葉が述べられました。来年の上川町での出会いとふれあいを楽しみに交流会は、盛り上がり終わりました。鷹栖ななかまど大学の皆さん有難うございました。

11月の授業

ミスター西垣氏によるマジックと講座 11/6

「物忘れ・体力の衰えからくる各種事故防止対策」と題して行われた講演会は、朝から吹雪模様の天候にもかかわらず、60名もの学生が来て、授業を受けました。バックミュージックにのって、華麗なマジックを披露して頂いた後、「夫婦円満の秘訣」「物忘れ」や「転倒事故」、そして「振込詐欺」や「訪問販売」と高齢者の抱える諸問題について、優しく機知のとんだお話を頂きました。アシスタントの「ミスター工藤」の演技もなかなかでした。



小学校と
 交流会
 昔遊び
 10/31 &
 合唱交流
 11/13

10月31日に小学校1・2年生といも餅・カボチャ団子の試食と昔の遊びで交流授業を行いました。前日準備では、お手伝いにとくさんの方の参加を頂き有難うございました。昔遊びと試食体験は、子ども達には概ね好評で中には6個も食べる子もいて、白寿の参加者を驚かせていました。閉会式では子ども達の感謝も述べられ、和やかな雰囲気の中で交流会を終える事ができました。参加された学生さんに感謝です。

12月に入り日々慌ただしさが増して参りました。4月から始まった今年の白寿大学も早いもので、いよいよ締めくくりの時期になってきました。この間、運営委員さんを始め、たくさんの学生さんに白寿大学の行事を盛り上げて頂きました。心から感謝いたします。皆さんにとって来年が益々良い年になることを心から祈っております。来年度もよろしくお願いいたします。